



S.Setoguchi

THE KYOTO SHIMBUN HAI

第72回 京都新聞杯 (GII)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 54,000,000円 22,000,000円 14,000,000円 8,100,000円 5,400,000円
付加賞 1,078,000円 308,000円 154,000円



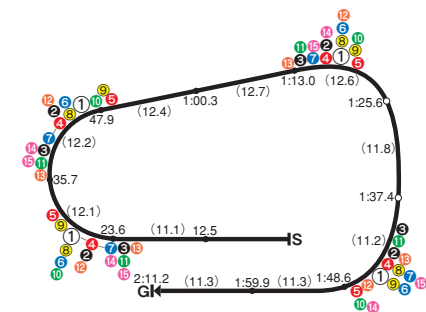
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

2024.5.4 京都 晴・良 芝2200m (国際) (指定)

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	①	ジューンテイク	牡 3	57	藤岡佑介	2:11.2	3-4-4-5	33.6	486(±0)	17.7⑧	武 英智(栗東)	110
2	⑤	ウエストナウ	牡 3	57	横山典弘	1	1-1-1-2	34.0	474(±0)	9.6⑤	佐々木昌三(栗東)	108
3	⑦	ヴェローチェエラ	牡 3	57	川田将雅	1/2	10-10-11-8	33.7	492(-6)	4.4②	須貝尚介(栗東)	107
4	④	アドマイヤテラ	牡 3	57	M.デムロ	1 1/2	10-11-8-2	34.3	490(-2)	11.6⑥	友道康夫(栗東)	105
5	⑬	キープカラム	牡 3	57	武 豊	クビ	12-13-11-8	33.9	484(+6)	8.6④	中竹和也(栗東)	
6	⑫	インザモーメント	牡 3	57	鮫島克駿	1/2	7-7-4-4	34.2	476(-2)	4.1①	田中克典(栗東)	
7	⑨	タガノデュード	牡 3	57	古川吉洋	1 1/2	15-15-15-12	34.0	480(-2)	178.0⑭	宮 徹(栗東)	
8	④	キャンブルルーム	牡 3	57	浜中 俊	1 1/4	7-7-8-8	34.4	486(-4)	19.0⑨	久保龍志(栗東)	
9	①	ライフセービング	牡 3	57	田口貴太	クビ	12-13-13-14	34.1	454(-6)	235.6⑮	宮 徹(栗東)	
10	⑥	ファージェント	牡 3	57	松山弘平	1 3/4	3-5-4-5	35.0	500(-2)	13.6⑦	藤原英昭(栗東)	
11	⑩	ハヤテノフクノスケ	牡 3	57	和田竜二	クビ	3-3-2-1	35.3	512(-4)	25.0⑪	中村直也(栗東)	
12	②	スカイサーベイ	牡 3	57	西村淳也	2	7-7-8-12	35.0	480(±0)	64.8⑬	池添 学(栗東)	
13	③	オールセイন্ツ	牡 3	57	岩田康誠	3	12-11-13-15	35.2	500(±0)	41.3⑫	友道康夫(栗東)	
14	⑧	ベラジオボンド	牡 3	57	岩田望来	2 1/2	3-5-4-8	36.2	474(-4)	6.3③	上村洋行(栗東)	
15	⑨	プレリウドシチー	牡 3	57	幸 英明	大差	2-2-2-5	38.3	468(+4)	20.1⑩	高橋義忠(栗東)	

単勝①1,770円(8¹/₂%) 複勝①510円(10¹/₂%) ⑤340円(5¹/₂%) ⑦170円(1¹/₂%) 枠連①-③8,120円(28¹/₂%)
馬連①-⑤11,990円(46¹/₂%) ワイド①-⑤3,420円(47¹/₂%) ①-⑦1,650円(22¹/₂%) ⑤-⑦1,140円(9¹/₂%)
馬単①-⑤25,660円(95¹/₂%) 3連複①-⑤-⑦21,060円(84¹/₂%) 3連単①-⑤-⑦148,020円(558¹/₂%)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
35.7 - 47.9 - 1:00.3 45.6 - 33.8

アラカルト

- ・藤岡佑介騎手はステイフルリッシュで制した18年に続く京都新聞杯2勝目。JRA重賞は本年3勝目、通算47勝目
- ・武英智調教師は京都新聞杯初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算10勝目
- ・キズナ産駒はJRA重賞通算29勝目

ジューンテイク June Take

牡 黒鹿毛 2021.3.27生
北海道浦河町 ヒダカファーム生産
馬主・吉川潤氏 栗東・武英智厩舎
馬名意味・冠名+取る

デビルズブライドUSA系 F10-e

キズナ 青鹿毛 2010	ディーブインバウト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	キャットキールCAN 鹿毛 1990	Storm Cat Pacific Princess
アドマイヤサブリナ 芦毛 2010	シンポリクリスエスUSA 黒鹿毛 1999	Kris S. Tee Kay
	ツインクルヴェール 芦毛 2001	サンデーサイレンスUSA ツインクルブライド

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA S3×M3 Lyphard M4×S5
Hail to Reason S5×M5×M5
Northern Dancer S5×M5

INTERVIEW

近藤光将 専務(ヒダカファーム)

感謝の気持ちでいっぱいです

いいリズムで走っているなと思いながら見ていましたが、勝つことまでは想像していませんでした。こちらには1歳夏までいましたが、スラッとしたいい馬という印象が残っています。性格は兄や姉と比べるとやんちゃでした。ダービーという舞台に立てるだけでも名誉なこと。この馬に携わっていただいた皆さんはもちろんですが、馬にも感謝の気持ちでいっぱいです。

N.Inaba



父仔制覇で大一番への切符を掴む

ダービーへの「東上最終便」とも呼ばれる京都新聞杯は傑出した存在が不在の顔ぶれ、上位拮抗の勢力図のもとで争われた。そんななか、4倍台のオッズで1、2番人気に支持されたのは前走のアザレア賞を完勝、2走前のきさらぎ賞でも僅差の4着に食い下がったインザモーメントと、キャリア3戦の1勝馬ウエローチエラ。しかし勝利の軍配は8番人気のジューンテイクにあり、GI好走歴を持つ2勝馬がダービー行きの切符を掴み取った。

1戦1勝の新星ウエストナウが豪快な強襲を決めた初陣の未勝利戦とは一転、軽快なダッシュで飛び出して主導権を奪取。若さを露呈し、1コーナー手前で急激に外へ逃避した同馬だが、態勢を立て直されてからは落ち着いたラップを刻んで風を切る。ジューンテイクの藤岡佑介騎手は最内枠から意欲的に先行し、4番手のインを追走。インザモーメントは折り合いに苦労しながら中国の外を進み、スタートで立ち遅れたウエローチエラはその背後で末脚を温存した。

3コーナーの坂の下りに差し掛かると、アドマイヤテラが後方から一気に進出、好位を追走してきたハヤテノフクノスケとともに先頭へ並びかける。一方、火花を散らす前の3頭を好位で見守り、脚を溜めて坂を下った藤岡騎手は、直線に向くと内ラチ沿いに開いたスペースを狙ってスパート。鋭く加速したジューンテイクが、粘りに粘るウエストナウを内からかわして先頭へ抜け出し、勝負を決めた。

昨年7月、中京・芝1400mの新馬戦を勝ち上がった本馬は、12月のこのやまき賞で2勝目をマーク。続く朝日杯フューチャリティSでも小差の4着に追い込んだ。3歳を迎え、中距離へ矛先を向けた2戦(すみれS2着、若葉S5着)ではパンチ不足と映る走りが続いたものの、父キズナがダービー制覇へのステップとしたレースで鮮やかに変身。2020年のディーポンド、22年のアスクウィルドモアに続く父仔制覇を果たし、弾みをつけて大一番へ向かう。

父キズナ

北海道新冠町 株式会社ノースヒルズ生産 中央、仏14戦7勝(日本ダービー^{G1}、大阪杯^{GII}、京都新聞杯^{GII}、ニエル賞・仏^{G2}、毎日杯^{GIII})、最優秀3歳牡馬、16年から供用。23年日本2歳リーディングサイヤー
〔代表産駒〕**ジャスティンミラノ**(皐月賞^{G1})、**ソングライン**(安田記念^{G1}2回、ヴィクトリアマイル^{G1}、富士S^{GII})、**アカイト**(エリザベス女王杯^{G1})、**ディーポンド**(阪神大賞典^{GII}2回、フォア賞・仏^{G2}、京都新聞杯^{GII}、天皇賞(春)^{G1}2着3回、有馬記念^{G1}2着)、**バストラットレオン**(ニュージーランドトロフィー^{GII}、ゴドルフィンマイル・首^{G2})、**マルターズディオサ**(チューリップ賞^{GII}、紫苑S^{GIII})、**シックスペンス**(スプリングS^{GIII})、**アスクウィルドモア**(京都新聞杯^{GII})、**ジューンテイク**(本馬)、他に重賞勝ち馬多数

母アドマイヤサブリナ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央30戦3勝(桑名特別)
ジューンベロシティ(18 牝父ロードカナロア)中央22戦2勝、障害11戦4勝(阪神ジャンプS・J・^{GIII}、東京ジャンプS・J・^{GIII}、中山グランドジャンプ・J・^{G1}2着) ⑧
ジューンオレンジ(20 牝父ジャスタウェイ)中央15戦4勝(白秋S、下北半島特別、フィリーズレビュー^{GII}3着) ⑧
ジューンテイク 本馬(21 牝父キズナ)中央9戦3勝(京都新聞杯^{GII}、こうやまき賞、すみれS・L2着)獲得総賞金98,205,000円
(22 牝父ドレフォンUSA)
※19、23、24(不受胎)

祖母ツインクルヴェール

北海道早来町 ノーザンファーム生産 中央2勝。19年用途変更
ツインクルブーク(08 牝父シンポリクリスエスUSA)中央1勝、障害1勝、地方0勝、カラミンサ(荒川峡特別、萬代橋特別)の母
トーセンヴェール(09 牝父クロフネUSA)中央0勝、地方1勝、**トーセンガネット**(東京プリンセス賞、桜花賞・浦和、ニューイヤーズC、関東オークス^{JRA}II3着、NAR3歳最優秀牝馬)、カイル(東京ダービー)の母
アドマイヤサブリナ(10 前出)
エアカミューゼ(11 牝父キングカメハメハ)中央4勝(吹田特別)、障害0勝
アドマイヤビクター(15 牝父ルーラーシップ)中央4勝(竹田城S)

曾祖母ツインクルブライド

北海道早来町 社台ファーム生産 中央2勝(桜花賞^{G1}2着)、11年死亡、**ペールギョント**(デリー杯2歳S^{GIII}、シンザン記念^{GIII}、種牡馬)の母、**ミッキースフロア**(日経賞^{GII}、セントライト記念^{GII}、七夕賞^{GIII}、種牡馬)の祖母